

本文と合わない文をえらぼう

小6／本文を読んで、本文の内容と合わない文を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 気温の変化を よんで、本文と合わない文を1つえらびましょう。

ある調査によると、日本の平均気温は100年あたり約1.3度上がっています。特に1990年代以降は、暑い日の数が増えました。筆者は、気温が上がるのをおさえるには、家庭での電気の使い方を見直すことが第一歩だと述べています。

- 1 100年あたりおよそ1.3度上がった。
- 2 暑い日が増えたのは1990年代から後のこと。
- 3 筆者は電気の使い方の見直しを求めている。
- 4 筆者は第一歩として学校での取り組みを挙げている。

2 「いただきます」の説明を よんで、本文と合わない文を1つえらびましょう。

「いただきます」は、食べ物の命や作ってくれた人への感謝を表す言葉だと言われます。筆者は留学生にこの言葉を説明したとき、英語にぴったりの言葉が見つからなかったと書いています。そして、言葉には文化がこめられていると考えるようになりました。

- 1 この言葉は感謝を表すと言われている。
- 2 筆者がこの言葉を説明した相手は外国の先生だった。
- 3 筆者は言葉と文化の結びつきに気づいた。
- 4 英語にはぴったり合う言葉が見つからなかった。

3 遠足の行き先を よんで、本文と合わない文を1つえらびましょう。

クラスで遠足の行き先を話し合ったとき、山派と海派に分かれました。山派のゆいさんは、両方の意見を合わせて「海に見える山」を提案しました。その案に全員が賛成し、筆者は意見のちがいが新しい答えを生んだと感じました。

- 1 「海に見える山」を提案したのは海派の人だった。
- 2 行き先について意見が二つに分かれた。
- 3 筆者はちがう意見から新しい答えが生まれたと感じた。
- 4 「海に見える山」の案に全員が賛成した。

本文と合わない文をえらぼう【こたえ】

小6／本文を読んで、本文の内容と合わない文を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

答えと、たしかめるところ

1 答え：4

筆者が第一歩とするのは家庭での見直しです。「学校での取り組み」が本文と合いません。

2 答え：2

筆者が説明した相手は留学生です。「外国の先生」が本文と合いません。

3 答え：1

提案したゆいさんは山派です。「海派の人」が本文と合いません。

読み取るコツ

だれが・いつ・何を・どれだけを、本文と1つずつ照らします。

自然に読める文でも、本文と食いちがえば「合わない文」です。

本文と合わない文をえらぼう

小6／本文を読んで、本文の内容と合わない文を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 紙ひこうき大会を よんで、本文と合わない文を1つえらびましょう。

筆者は小学生のころ、紙ひこうきの大会で3回続けて最下位になりました。そこで、飛んだきよりを毎回ノートに記録し、羽の角度を少しずつ変えてみました。4回目の大会では2位になり、記録することの大切さを知ったといいます。

- 1 筆者は記録することの大切さを学んだ。
- 2 筆者は大会で3回続けて最下位だった。
- 3 4回目の大会で筆者は優勝した。
- 4 筆者は羽の角度を変えて試した。

2 村の山の決まりを よんで、本文と合わない文を1つえらびましょう。

ある村では、昔から山の木を切りすぎないように、切ってよい木の数を村の決まりで定めてきました。この決まりは三百年前の記録にも残っています。筆者は、この決まりが土砂くずれから村を守ってきたと考えています。

- 1 決まりは山の木を切りすぎないためのもの。
- 2 決まりは三百年前の記録に見られる。
- 3 筆者は決まりが村を災害から守ったと考える。
- 4 決まりでは植える木の数を定めている。

3 見出しの実験を よんで、本文と合わない文を1つえらびましょう。

ある実験で、同じニュースを見出しだけ変えて二つのグループに読ませました。「危険」という言葉を入れた見出しでは7割が「心配だ」と答え、入れなかった見出しでは3割でした。筆者は、言葉の選び方で受け取り方が変わると述べています。

- 1 「危険」の入らない見出しでは3割が心配だと答えた。
- 2 「危険」を入れた見出しでは半数が心配だと答えた。
- 3 筆者は言葉の選び方が受け取り方を左右すると言う。
- 4 二つのグループは同じニュースを読んだ。

本文と合わない文をえらぼう【こたえ】

小6／本文を読んで、本文の内容と合わない文を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

答えと、たしかめるところ

1 答え：3

4回目の大会は2位です。「優勝した」が本文と合いません。

2 答え：4

決まりで定めているのは切ってよい木の数です。「植える木の数」が本文と合いません。

3 答え：2

「危険」を入れた見出しでは7割です。「半数」が本文と合いません。

読み取るコツ

だれが・いつ・何を・どれだけを、本文と1つずつ照らします。

自然に読める文でも、本文と食いちがえば「合わない文」です。

本文と合わない文をえらぼう

小6／本文を読んで、本文の内容と合わない文を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 一冊の本を よんで、本文と合わない文を1つえらびましょう。

筆者は中学生のとき、図書館で南極観測隊員の日記を読み、寒さの中で協力し合う姿に心を打たれました。その本がきっかけで、大学では気象を学びました。今は、読書は知らない世界への入り口だと考えています。

- 1 本がきっかけで筆者は気象を学んだ。
- 2 筆者は読書を知らない世界への入り口と考える。
- 3 筆者がその本を読んだのは小学生のときだった。
- 4 筆者は南極観測隊員の日記を読んだ。

2 夕焼けの問いを よんで、本文と合わない文を1つえらびましょう。

ある研究者は、子どものころに「なぜ夕焼けは赤いのか」と父にたずねましたが、答えはもらえませんでした。その問いを持ち続け、大人になって光の研究者になりました。筆者は、すぐに答えが出ない問いこそ大切にしたいと述べています。

- 1 研究者は子どものころその問いを母にたずねた。
- 2 研究者は大人になって光を研究した。
- 3 研究者の問いは夕焼けの色についてだった。
- 4 筆者は答えがすぐ出ない問いを大切にしたいと言う。

3 地域のそうじ活動を よんで、本文と合わない文を1つえらびましょう。

地域のそうじ活動に、去年は30人が参加しました。今年は小学生が呼びかけのポスターを作ったところ、参加者は75人に増えました。集めたごみの量も、去年の約2倍になりました。

- 1 去年の参加者は30人。
- 2 今年の参加者は去年の3倍になった。
- 3 呼びかけのポスターを作ったのは小学生。
- 4 集めたごみの量も去年より増えた。

本文と合わない文をえらぼう【こたえ】

小6／本文を読んで、本文の内容と合わない文を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

答えと、たしかめるところ

1 答え：3

本を読んだのは中学生のときです。「小学生のとき」が本文と合いません。

2 答え：1

研究者がたずねた相手は父です。「母」が本文と合いません。

3 答え：2

30人から75人なので2.5倍です。「3倍」が本文と合いません。

読み取るコツ

だれが・いつ・何を・どれだけを、本文と1つずつ照らします。

自然に読める文でも、本文と食いちがえば「合わない文」です。